

海岸・港湾 （詳細設計）		令和 年 月 日作成					
【景観形成の目標・方針】							
留意事項		CHK	具体的な配慮の内容(又は対応できない理由)				
海岸保全施設	構造物のボリューム感を抑制し、海と街の一体感を確保する	☐	※実行する具体的配慮内容を記述。但し、実行不可の場合はその理由を記述				
	護岸等は圧迫感を軽減し、自然物と人工物の境界を和らげる	☐					
	護岸や防潮堤は質感の工夫などにより単調で固い印象を和らげる	☐					
	離岸堤等が、景観に圧迫感や違和感を与えないよう配慮する	☐					
付帯施設	ランドマーク建築物は海の雰囲気と調和したシャープなデザインとする	☐					
	栈橋には耐久性のある素材を使用し、素材色を基本とする	☐					
	防護柵は高い透過性をもつ部材や落ち着いた色彩を選択し、隣接区間との連続性にも配慮する	☐					
	モニュメントを設置する際は意図を明確にし位置や大きさに配慮する	☐					
植栽	臨海部の緑化を推進する	☐					
	眺望の確保及び海浜植生に配慮しつつ樹種を選定する	☐					
その他の配慮事項							
【課題等、次の段階へ引き継ぐ事項】							
【添付資料】							
☐ 案内図 ☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 断面図 ☐ パース ☐ 模型写真 ☐ 現況写真 ☐ その他（ ）							

令和 年 月 日作成